

道徳通信



中島中学校 1学年道徳通信 No.2 R7. 5. 22

席を譲ったけれど【主題名：思いやりの心をもって接するとは】



人を思いやるときにたいせつなことは、何だろう。

【あらすじ】

バスで高齢の男性に席を譲ろうとした中学生。男性から帰ってきた「ふざけるな。」という言葉に、善意で行った行為が、相手にとっては迷惑だったのかと困惑し、新聞に投稿する。この投稿には、100通を超える反響が寄せられた。中学生への感謝や励まし、アドバイスなどの3通が紹介されている。



【ねらい】

中学生が高齢者にバスで席を譲ったときに起こったトラブルを記した投稿と、その反響を通して、人を思いやるときに大切なことは何かについて考えさせ、思いやりや感謝の心をもって他者に接していこうとする判断力を育てる。

【授業を通して考えたことや、これからの自分について考えたことは何ですか？】

- ・思いやりはしようと思ってしても、それが嫌に感じる人もいるので難しいと思った。これから、自分も相手も大切にできる発言が大切だと改めて思った。これからも続けていきたい。
- ・今日の授業で、思いやりの行動をしたと自分は思っている、相手は違うとらえ方をすることもあると学んだ。
- ・今日の授業で、自分は思いやりと思っていたことが相手を傷つけることもあるとわかったので、言い方を考えれば良いと思いました。これから、自分が譲られたら素直に席に座ったり、公共の場で困っている人がいたら声をかけたりしたいと思いました。
- ・私は、中学生もおじいさんもどっちも悪くないと思うけど、おじいさんはなぜ、あんなに強い言い方をしたのか、もやもやしています。もし、私がおじいさんであっても座りません。理由は、早い者勝ちだと思うからです。
- ・席を譲ってもそれに対して文句を言う人がいるので、人間は難しいと思いました。
- ・私は、席を譲って怒られたことはないです。しかし、もしおじいさんに怒られたら、謝って元の席に座ると思います。友達は、「そのまま座らず、空席にしておく」と言っていて、そういう場合もあっていいんだと気づくことができました。
- ・友達の意見を聞いて、「譲ります。」ではなく、「譲りましょうか?」と聞いてみるのも一つの聞き方だと思いました。
- ・断られることが嫌で、バスや電車の中でだれにも話す勇気がないことが自分の弱さだと感じました。

ご家庭で「人を思いやるときに大切なことは何か。」について話し合ってみてください。